

日本と中国、何が同じで何が違うのか？

古来より日中両国が深い関係にあったことは、今さら言うまでもありません。東アジア世界のなかで、中国の制度や宗教などさまざまな影響を受けて日本社会が成立してきたにもかかわらず、社会のあり方・人々の行動様式にはかなり大きな差が見られます。いったいその差はどこから来たのでしょうか。それぞれの歴史的個性とは、何なのでしょう。

日時 / 平成29年12月2日(土) 13:30~16:40

会場 / 合人社ウエンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)
北棟6階マルチメディアスタジオ
(広島市中区袋町6番36号)

定員 / 100名(定員を超える場合は抽選)

受講料 / 750円

受講対象 / 高校生・一般

● 中国の歴史的個性 (13:30~15:00)

—政治と社会の仕組みから見えてくるもの—

講師 / 金子肇 (歴史文化学講座 教授)

中国とつき合っていく上で大事なことは、日本の常識で相手を見ないことです。中国の歴史を学んでいると、その政治や社会の個性がよく見えてきます。この講義では、皇帝から地方末端に至る統治と行政、社会・地域を支える相互扶助やネットワークの特徴を紹介し、そこに垣間見える歴史的個性が、実は日中戦争における徴兵の在り方にまで影響を及ぼしていた点についてお話しします。

● 日本社会の深淵 (15:10~16:40)

—イエとムラがもたらしたもの—

講師 / 勝部 真人 (歴史文化学講座 教授)

近年の日本では、イエやムラなどはほとんど消滅しつつあるものとしか見えないかもしれませんが、つい最近まで社会や経済、政治のシステムを貫く基軸的要素であったのではないのでしょうか。人間関係のあり方や人の行動パターンのレベルでも日中両国で大きな差があるのですが、それは家の継承・村落社会のありように起因しているように思われます。その点を改めて考えてみませんか。

申込方法: はがき(一人1枚※往復はがきではありません。)に、①講座名、②郵便番号、③住所、④氏名(フリガナ)、⑤電話番号を記入し、下記の宛先へお申込みください。なお、電話・FAXでの申込受付は行っていません。定員を超える場合は抽選となります。

申込先: (公財)広島市文化財団 ひと・まちネットワーク部管理課係
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

申込期間: 平成29年10月2日(月)~10月31日(火)

【問い合わせ先】

○広島大学大学院文学研究科
支援室(運営支援担当)
TEL 082-424-6604
FAX 082-424-0315

○(公財)広島市文化財団
ひと・まちネットワーク部管理課
TEL 082-541-5335
FAX 082-541-5611